



IFS エコ・フットプリント管理

IFS APPLICATIONS™

IFS ECO-FOOTPRINT MANAGEMENT

利益を上げながら
社会に貢献



サプライチェーン全体の環境負荷を**算出し**、**分析**

製品ライフサイクル全体を**分析**

透明性を**向上**

環境保護規制を**遵守**し、今後導入が想定される規制にも**あらかじめ対応**

ブランド力を**強化**

リスクを**軽減**

収益を**改善**

エンタープライズ・アプリケーションの既存のデータを利用するだけで

**これらすべての課題を
満たし、さらなる効果
を生み出す**



当社の場合、環境負荷の軽減や製品のエネルギー効率の向上に取り組んでいることを実証し、企業としての信頼性を高めることが課題です。これが実現できれば、市場で優位に立てることは明らかです。

スウェーデン
アイヴィー・プロダクト社
CEO アルフ・シェーベルイ氏



持続可能性を追求する

環境に配慮した企業経営、いわゆる「グリーン化」（最近はまだ別の表現がされているかもしれませんが）は、もはや企業にとって任意で選択できるものではなくなりました。少なくとも、競争に勝ち残り、一步でも他社に先んじたいのであれば、選択の余地はありません。現行および審議中の国際法令、消費者や投資家のエコ意識の高まり、そして健全なビジネス感覚によって、環境会計がビジネス上の緊急課題となっています。環境に優しい企業経営は環境にとって有益であるだけでなく、企業の収益増加にもつながるからです。

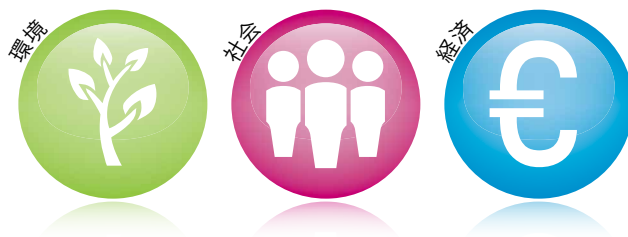
1972年に国連が開いたストックホルム会議は、環境問題が国際的に注目され、国際レベルでの環境政策が進展する転機となりました。それ以来、1978年のブルントランド報告のような報告書やアジェンダ21を採択した地球サミットを始めとする国際会議において、環境問題は社会のあらゆるレベルで取り組むべき課題として位置付けられ、集約されてきました。その結果、ビジネス界においては、WEEE、REACH、RoHS、GRI、ISO 14001、エコデザイン指令のほか、持続可能性の向上を目的とする多くの規制が広く知られるようになりました。

「環境配慮」の証が求められている

このような進展に伴い、消費者の意識も高まってきました。購入する製品の原材料の調達、製造、輸送、販売が自然環境に適した方法で行われていると納得できるならば、高額な費用もいとわないとする消費者がますます増えています。いわゆる「エコマーク」が製品に付いていれば、その製造、使用、廃棄が環境に配慮して決定されている証明になります。たとえば、ドイツのグリーネプункト（Der Grüne Punkt）、EUの「フラワー」、スカンジナビア地域の「スワン」などは、消費者が「グリーン」製品を選択する際の参考となるエコラベルであり、これらは結果的に需要と供給に影響を及ぼします。同様に、環境製品宣言（EPD）やISO 14001認証などのスタンダードは、B2B市場に影響を与えます。

... 投資家からも同様のニーズが

同様に、投資家の意識も向上しています。環境への意識が高まる中、持続可能な方法で事業活動を行う能力や意欲も企業価値を評価する基準の1つとなっています。実際、持続可能性報告書は、貸借対照表や損益計算書と同様に、年次報告書に含まれていることが当たり前になりつつあります。さらに、地球的規模報告イニシアチブ（Global Reporting Initiative:GRI）が定義する企業価値の新たな評価基準の1つとして、「環境・社会・経済（Planet、People、Profit）」があります。



機能概要

部品単位で「標準環境負荷」の算出

- 標準原価計算と同様の手法
- ユーザーが追跡対象の物質を定義可能
- ライフサイクルアセスメント
(製造から出荷まで、あるいは製造から廃棄まで)
- 環境製品宣言 (EPD)

最終製品の環境負荷をまとめる

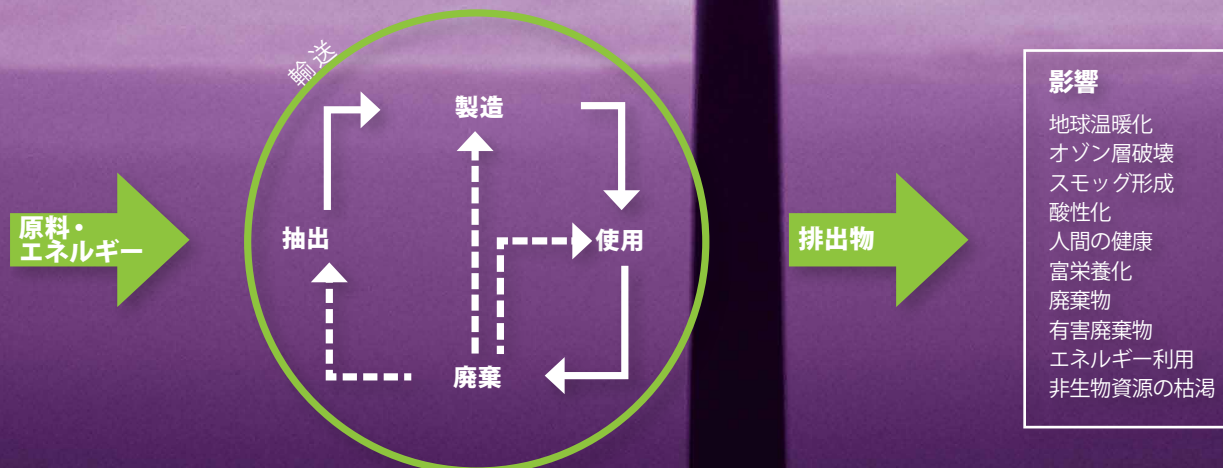
環境負荷の種類ごとに分類

- 大気、土壌、水 — 環境への直接の影響
- 汚水、廃棄物 — 廃棄時に考慮
- 製品 — 廃棄中の残存物を考慮
- リサイクルもしくは再利用 — 納入の過程や廃棄の結果を考慮

環境への影響を推定

ライフサイクルアセスメント

サプライチェーン全体に対して企業が責任を負うべきであるとする声が高まる中、ライフサイクルアセスメントの機能は不可欠となっています。仕入れから使用さらには廃棄にいたるまで（ゆりかごから墓場まで）製品のライフサイクル全体を分析することが可能であれば、企業は環境影響を完全に管理することができます。これによって、コンプライアンス要件（ISO 14040 など）の遵守が容易になり、環境製品宣言の正確さを高めることができるほか、生産の「グリーン化」により、環境ひいては企業への負担も減らすことが可能になります。



課題を利益に

IFS エコ・フットプリント管理は、いかにして直感的な善意ある行動（正しいことをしているつもりの行動）を脱し、意味のあるデータに基づく定量的な環境評価を行うにはどうすればよいかという、持続可能性における大きな課題の1つを解決するのに役立ちます。本ツールは ERP ソリューションと緊密に統合され、必要なデータのすべてに瞬時にアクセスできるため、事業が環境に与える負荷の算出と分析、コストの管理、将来予想される環境保護規制に向けた準備が可能になります。

ユーザー定義によるアジリティの向上

IFS エコ・フットプリント管理の大きな利点の1つは、ユーザーにより追跡対象の環境負荷の定義が可能であることです。二酸化炭素、アンモニア、鉛

など、特定の業種に関係する変数のほか、エネルギーなどのように厳密には物質とは言えない変数も測定対象として設定できます。したがって、どのような業種の企業であっても、IFS エコ・フットプリント管理を使用することにより、事業活動が環境に与える影響を評価するために必要なデータを取得できます。

エコ・フットプリントをどのように追跡する必要がありますか？ 最終製品別に？ ワークセンター別に？ 輸送手段別に？ それとも、一定の期間または生産量単位に最悪の影響をもたらした人や物を突き止めることの方が重要ですか？ 間違いなく、さまざまな変数の傾向も注視する必要があります。おそらく将来へ向けた計画のために環境影響推定も行うでしょう。業務がどれくらいグリーン化しているか、あるいは今後グリーン化するかをいかなる形で評価する場合でも、IFS エコ・フットプリン

Environmental Footprint per Part - 21-110

Part No: 21-110 Description: Engine, Racing, Discrete Mfg Struct Alt: * Rout Alt: * Effective Date: 2009-12-04 Eff Serial No: Site: 1

Planner: * Part Type: Manufactured UoM: PCS

Inventory Value: 12 123,45 Product Code: 210 Discrete Mfg Racing Engine Calculation Date: 2009-12-04 15:19:25

Currency Code: USD Product Family: 200 Engines Std Lot Size: 1

Func Unit Value: 100 Functional UoM: kW Multi-Site Planned Part

Lifetime: 200000 Lifetime UoM: h Notes

Substance No	Description	Emission Media	UoM	Level CTG Emission	Accum CTG Emission	Level	End Of Life Emissions	Level	Emission
1163-19-5	Decabromobip...	Product	kg	0	0,01				0,009
4719-04-4	C9H21NO3	Air	kg	4,016	11,048				0
50-00-0	Formaldehyde	Product	kg	0	0,22				0,18
8009-03-8	Petrolatum	External...	kg	3,14	3,14				0
8009-03-8	Petrolatum	Product	kg	0	0		0	0	0
BENZENE	Benzene	Water	kg	0,08	0,24		0	0	0
CADMILUM	Cadmium	Product	kg	0	0,003		0	0	0
CADMILUM	Cadmium	Recycling	kg	0	1		0	0	-1
CO2	Carbon Dioxide	Air	kg	1,54	25,8418		60000	60000	2,1
LEAD	Lead	Product	kg	0	0,198		0	0	0
LEAD	Lead	Recycling	kg	0	5		0	0	-4,75
NH3	Ammonia	Waste	kg	0	0		20	20	0
NOX	Nitrate Com...	Air	kg	0	0,28		0	0	0
PHENOL	Phenol	Air	kg	0,01	0,01		0	0	0
PHENOL	Phenol	Water	kg	0,008	0,024		0	0	0

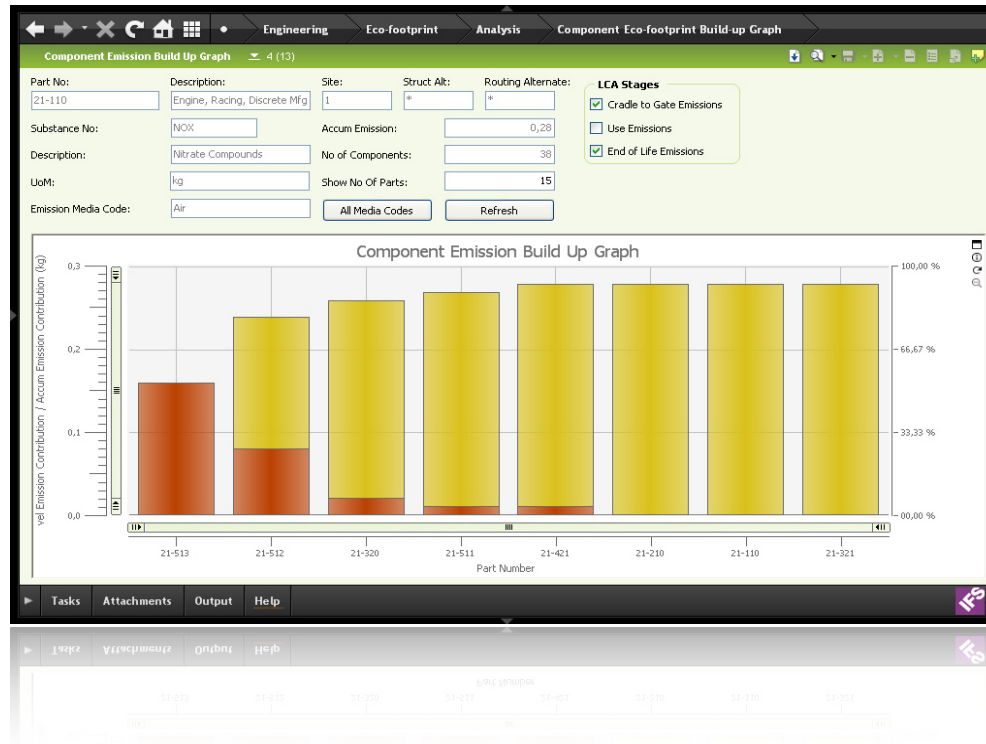
Tasks Attachments Output Help

IFS

Figures for November 09.
Much improved compared with
Nov 08. Do we need to meet?
Peter

IFS エコ・フットプリント管理 — 複雑なことを管理する

自社製品やサービスの環境への影響を測定し分析する能力を備えた企業は、「グリーン化」および環境フットプリントの削減への道筋がついていると言えます。その結果、生産および物流における持続可能性が向上し、あらゆる面でより健全な収益が確保できます。複雑な作業のように聞こえたでしょうか。確かに複雑です。しかし、IFS エコ・フットプリント管理を利用すると、こういった作業を思いどおりに管理でき、エコ管理が日常業務の一部になります。



ト管理は業務全体と生産時間や生產品目別の詳細を把握するのに最適なツールです。さらに、等価計算によって、異なる排出物の環境影響を総計することもできます。物質は環境に対してそれぞれ異なる影響（人体への毒性、地球温暖化、オゾン層破壊など）を及ぼすため、それらを等価的に比較することにより、どの物質がどの程度、環境に影響を及ぼしているかをより明確に把握できます。

すべてはビジネス・アプリケーションの中に

IFS エコ・フットプリント管理では、財務コストを把握するための既存の IFS Applications コンポーネントを利用して、環境影響に関する情報も取得で

きます。ビジネス・アプリケーションの既存のデータにシームレスにアクセスできるため、手間をかけることなくエコ・フットプリントを評価し、文書化できます。正確な文書を作成することは、透明性の向上につながります。その結果、企業のグリーンブランディングへの取り組みに対し、政府や消費者からの信頼が高まり、さらには無駄を見つけ出してコストを削減することも可能になります。IFS エコ・フットプリント管理はお客様とのコラボレーションによって設計されており、経営者レベルの関心事項から現場での実作業にいたるまで、企業活動全体を網羅し、利益を上げながら社会に貢献することを可能にします。

IFS と IFS APPLICATIONS について

IFS 社 (OMX STO:IFS) は、ビジネスアプリケーションのグローバルプロバイダーとして、企業が素早く市場の変化に対応するためのソリューションを提供しています。これは、企業の資源をよりタイムリーに配置・活用することで、業績の向上や競争力の強化を可能にするものです。

IFS 社は、1983年にスウェーデン リンショーピン市に創立、現在 2600人の従業員を擁しています。同社が開発・販売する IFS Applications は、業界で初めてコンポーネントベースで開発された ERP ソフトウェアで、現バージョンはその 7 世代目にあたります。同社のコンポーネントアーキテクチャーは、導入や稼働、アップグレードを容易にします。IFS Applications は、54 カ国で販売されており、20 言語に対応しています。

IFS 社は、7つのターゲットインダストリー (航空・防衛産業、自動車産業、機械・機器製造業、プロセス産業、建設・保守 & サービス管理、小売 & 卸売業、公益・テレコム産業) を設け、約 60 万のユーザーがいます。IFS Applications は、CRM (顧客関係管理)、SCM (サプライチェーン・マネジメント)、PLM (製品ライフサイクル管理)、CPM (コーポレート・パフォーマンス管理)、EAM (企業設備資産管理)、MRO (メンテナンス、リペア、オーバーホール) といった幅広い機能を提供します。

AMERICAS +1 888 437 4968

ARGENTINA, BRAZIL, CANADA, MEXICO, UNITED STATES

ASIA PACIFIC +61 2 8904 9222

AUSTRALIA, INDONESIA, JAPAN, MALAYSIA, NEW ZEALAND, PHILIPPINES,
PR CHINA, SINGAPORE, THAILAND

EUROPE EAST AND CENTRAL ASIA +48 22 577 45 00

BALKANS, CZECH REPUBLIC, GEORGIA, GREECE, HUNGARY, KAZAKHSTAN,
POLAND, RUSSIA, SLOVAKIA, TURKEY, UKRAINE

EUROPE CENTRAL +49 9131 77 340

AUSTRIA, BELGIUM, GERMANY, ITALY, NETHERLANDS, SWITZERLAND

EUROPE WEST +44 1494 428 900

FRANCE, PORTUGAL, SPAIN, UNITED KINGDOM

MIDDLE EAST AND AFRICA +9714 390 0888

INDIA, SOUTH AFRICA, SRI LANKA, UNITED ARAB EMIRATES

NORDIC +46 13 460 4000

DENMARK, NORWAY, SWEDEN

FINLAND AND THE BALTIC AREA +358 102 17 9300

ESTONIA, FINLAND, LATVIA, LITHUANIA

www.IFSWORLD.com

IFS ジャパン株式会社

〒105-0014 東京都港区芝二丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館

TEL 03-5419-7900 FAX 03-5419-7909

E メール info@ifsjapan.co.jp

本カタログに記載されている情報は今後予告無しに変更される可能性がありますので予めご了承ください。IFS および IFS 社の全ての製品は、IFS 社の商標です。その他記載された会社名、商標名は各社の商標または登録商標です。

IFS AB©2010